

一連の墓地環境整備工事完了

～ 三界万霊供養塔・永代供養塔・歴住墓 ～



三界万霊供養塔



「慈照」のプレートが
付きました



歴住墓地



三界万霊供養塔



歴住墓地



法事用のテーブルと
椅子



戒名プレートも付きました



駐車場から墓地への階段
を作りました



延命地藏と
水子地藏

わきみず

お盆号

発行所 普門山 林泉寺
三戸町 斗内字 寺牛25

新墓地奥がスッキリ

今回は三つの念願を果たすべく工事を完成させることができました。
一つ目は、何年か前から皆さんにお話ししておりました、永代供養塔は「慈照」という命名で完成にいたしました。
二つ目は、長年に亘り新墓地の奥に、抜魂供養済みの石塔が、うっそうとした草木に埋もれていましたが、やっと今回「三界万霊供養塔」として積み重ね整理いたしました。
三つ目は、ここ林泉寺をその時代時代に於いて綿々とお護り頂いてこられた歴史諸位大和尚の墓地も整備いたしました。
予備工事として駐車場階段も整備。これからも、先住の方々、そしてこれまでに盛り上げて頂いた先祖さまに感謝し恥じないよう、皆さんと共に令和の時代を生きていきたいと思っております。

葬儀は寺で、・・・。
最近、葬儀を〇〇ホールとか、〇〇会館でする方が多くなってきたように思われます。何故でしょうか？
をおくっていいのでしょうか？
我々には、先人の汗と苦労が染みこんだ、こんなに立派な本堂があるのに・・・。
食事の時には、椅子とテーブルの方が良いのであれば・・・。
ありますよ！。五十人ぐらゐは座れるテーブルと椅子を用意しました。
どうぞ、ご利用ください。

私達にもしもの事があつたらどうしたらよいのでしょうか？

お役だちマニュアル

もしものときは菩提寺へ

～檀信徒のみなさまへ～

Q 故郷を離れ都会での生活も長くなりきつた。

80歳を過ぎて、もしものとき、どうしたらよいのか？と考えるようになりました。故郷の親戚や縁者は少なくなってきたので、どう対処すればいいのかわかりません。故郷には菩提寺も、お墓もあるのですが・・・。

A まず、お寺と相談を

故郷から遠く離れてしましますと、なかなかお寺とも行き来が難しくなっていくものです。
お墓参りや法要などに行きたいと考えても、思うようにならないものではないでしょうか。

ご家族にしても同様なのではないのでしょうか。世代が子供や孫へと移っていくと、さらに故郷やお寺とのつながりも薄くなってしまいかもできません。
以前であれば、近くの親戚や近隣の方に気軽に相談していたかと思いますが、そうしたつながりも時代と共に変わっていく可能性があります。とくに葬儀や法事については、目に触れる機会が減り、また当事者として関わることも少ないですから、事に当たってはどうかすればよいのか？困ってしまう事が多いようです。
できる範囲で事前の用意や、家族のなかで話し合いをしておきましょう。まずは、菩提寺の住職と事前に相談されることをお勧めいたします。きっとよいアドバイスができると思いますし、慌てないための心の準備ができると思っています。

Q 葬儀ってどんな意味があるの？

もしものときが心配ですが、今までは宗教には特に関心もなく、仏事や菩提寺との付き合いも両親に任せていました。もし急に親が居なくなってしまった場合、どのようにしたらよいのかまったくわかりません。葬儀は必ずするものなのか？意味は？

A 葬儀の意味

葬儀はお釈迦さまの弟子となり、仏さまになるための仏道入門の儀式です。生前に仏さまの弟子になることが本来のカタチですが、日本では古くから、亡くなったときに葬儀を通して仏さまの弟子にしてみました。故人さまにとってはあの世へ旅立つための儀式でもあり、また見送る家族や知人にとっては故人さまとお別れをする大切な時間であり儀式でもあります。

Q おくぐり葬儀・家族葬・直葬ってどんな葬儀でしょうか？

葬儀は先に述べたお釈迦さまの弟子になる儀式を中心とし、故人とお別れ、お見送りをする儀式です。納棺（故人の身体を清め、遺品と共に納棺にお納めする）、お通夜で故人と最後の夜を過ごし、火葬（故人を荼毘に付す）、通夜・葬儀（故人が仏さまの弟子になる儀式）を通して、故人とお別れします。仏さまの弟子

家族葬は、家族近親者のみで行う小規模な葬儀です。家族近親者以外には故人にお別れすることができません。できるだけ生前にご縁のあったみなさまともにお別れし、お見送りできることが望まれます。



※地域より順番が前後する場合があります。
直葬は、儀式を何も行わず病院から、火葬場へ直行する方法です。決して、葬儀ではありません。

まごころの祭典

孟蘭盆

ご先祖を迎える

お盆は、正式には孟蘭盆と言い、旧暦の七月十五日を中心に行われる仏教に由来する日本古来の伝統的行事です。その実際は、七月(あるいは八月)の十三日から十六日の四日間、亡くなって四十九日法要が終わってからの最初のお盆(初盆または新盆)を迎える霊位や先祖代々の霊位を我が家にお迎えして供養する行事です。

うれしいお盆

お盆をつたった詩に、

「盆はうれしや別れた人も

はれてこの世に会いに来る」

という詩があります。お盆の期間人々はお先祖と再会するのです。私たちはお先祖を招き、ねんごろに接待します。お先祖からすれば、毎年一度、なつかしい我が家へ帰り、楽しい数日を過ごすのです。

御霊は目に見えなくとも

お先祖は目に見えませんが、でも心には見えるはず。そのお先祖に対してお花を供え、美味を備え、語りかけるのです。

見えなくても お花を供えたい
食べなくても 美味を備えたい
聞こえなくても 語りかけたい
見えないものへ まごころの贈りもの

まごころの贈り物

人間の行為で最も尊いのは、見えないものに対する奉仕であると思います。それは見返りを求めない純粹の行為です。禅ではそれを「不染汚の行」と言います。

実際に喜んでる姿は見えませんが、お位牌や遺影をきれいなお花で飾ってあげたいと思います。

「おばあちゃんはお花が好きだったから」ときれいなお花を供え、「おばあちゃん、きれいでしょ」と語りかける。「あの子が好きだったから」とお菓子やおもちゃを供えます。想いが少しでも届くようにと、私たちは目に見えないものに接します。

御霊を思うまごころ

でもそれは無意味なことではありません。実際に供えるのは物ですが、同時に私たちはまごころを供えているのだと思います。

そのまごころこそが御霊に届くのだと思います。私たちはそのような世界を信じています。

この世でもそうではないでしょうか。真に私の心を動かすのは、相手のまごころです。

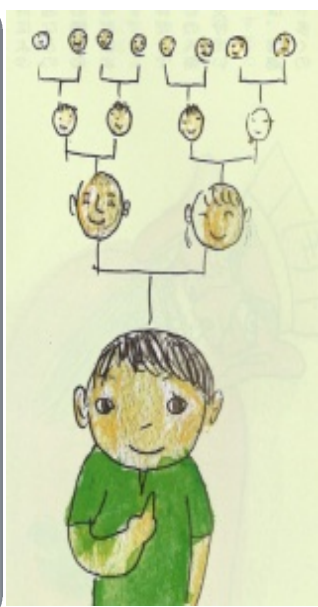
今年の初盆の行

平成三十年 六月二十六日より
令和元年 六月二十五日まで
逝去された方です。
(お盆(八月十二日)までに四十九日を終えられた霊位です)

ご先祖は何人いるの?

ご先祖は、十代遡ると二千二十四人、三十代遡るとこれがあると、十億七千三百七十四万八千四百八十八人(十億人を超えました)おられる計算になります。それらのご先祖がおられたからこそ、今の私がいると思つと自然と感謝の気持ちが湧いてきます。お盆はまさに日本人の「まごころの祭典」であり、「いのちの祭典」です。毎年、お盆が過ぎると寂しく感じます。

お盆が過ぎて寂しく思つのは、真心が、目に見えない物との別れを感じるからなのかも知れません。良かれ悪しかれ 親であればこそ 子こにあり



お施食会のご案内

八月十四日(水曜日)

午前十一時より

本堂に於いてご供養します。

供養料 一千元以上

同封の申し込み用紙に

お名前を記入し

供養料を添えて

当日本堂受付まで

お持ちください。

※尚、当日お出でにならない方は

前もって、随時受付いたしますので、

どうぞお申し込みください。

おかげさま

日本語には素晴らしい言葉がたくさんあります。

その中でも「おかげさま」という言葉には大らかなで平穏な響きを感じます。

「お元氣ですか」「おかげさまで」「その後いかがですか」「おかげさまでなんとか」、こんなやり取りを聞くときと安心いたします。おかげさまは、神仏に限らず、富士の姿や人の縁も含まれる八百万の功德なのです。

私は「おかげさま」という言葉を聞くとき、友人や、家族のことを思い浮かべます。人の思いが巡り巡って支え合っています。

皆さまが平穏で安心して暮らせますよう「おかげさま」という大いなる力にお護りいただき、寄り添う気持ちを忘れずに暮らしてゆきたいものです。

親が拝めば子も拝む、 拝む姿の美しさ

ご先祖さまと強い絆で結ばれている私たちです。これからも感謝の気持ちをお返しすることなく、自らの身を以て心を込め、ご供養を修行していくことが大切。そして身を以て行い示すことは次世代に真っ直ぐ伝わりまします。

これが菩提の種を蒔く身近な例です。こうして私たちの幸せは綿々と未来へとつなげていくのです。

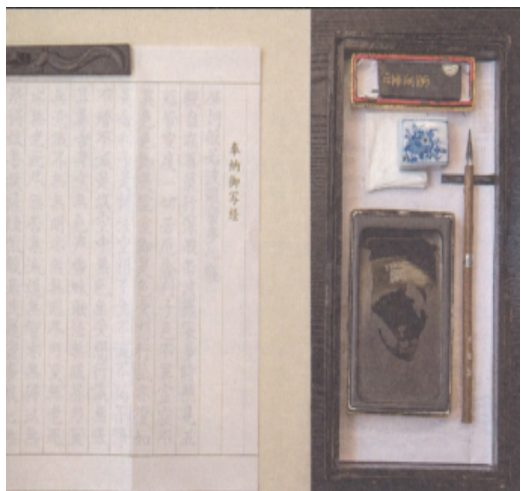
※当寺副住職 拓郎と美貴(弘前市出身)は良縁をいただきまして、晴れて平成三十一年三月三日に入籍を済ませましたことをご報告いたします。末永くよろしくおねがいいたします。

写経、 やってみる?



写経するには、何が必要か?

- ◆紙 ◆ぶんちん
 - ◆手本 ◆下敷き
 - ◆筆(筆記具)
- ※紙・手本はお寺にあります。



写経の準備が整ったところ

最近、歩いてる時でもスマホを見なければならぬほど忙しい方々をよく見かけます。何かをしなから他のことをしてないとか落ち着かない。それほど私達は毎日、慌ただしい世の中を生きているのでしょか。
今、そんな時代だからこそ、心の安らぎを求める人が増えています。写経はお経を写すことです。写経をする時、書き写す以外のことは出来ませんが、その時だけは、書き写すそのことに集中するただそれだけでいい、時間なのです。それは、心に本来の安らぎが訪れる瞬間かもしれません。
写経の始まりは、パソコンや印刷技術ができるずっと大昔、日本書紀の頃。
お経を伝えるために教本を墨で書き写したことが、禅僧の修行の一つとなりました。今日では、仏道修行に関係なく、心の赴くままに筆や筆ペンなどを手にする方も。文字を写すことに集中する時間が、心地よいと言われます。



アプリのダウンロードはこちらから

曹洞宗アプリを活用する
アプリをダウンロードして使ってみてください。



写経をしているところ

どんなお経があるの?

- 般若心経
 - 舍利礼文
 - 十句観音経
 - 四弘誓願文
- その他たくさんありますが、般若心経が一般的です。

自宅でやってみる

当寺ではまだ、人数集まって、毎月何日と決めて「写経会」を開くまで確立していません。紙と手本を自宅に持ち帰ってやってみてください。
手本の上に紙を置いて、上からなぞる。最後まで書き上げたときの満足感ほひとおです。

親が拝めば子も拝む、 拝む姿の美しさ

ご先祖さまと強い絆で結ばれている私たちです。これからも感謝の気持ちをお返しすることなく、自らの身を以て心を込め、ご供養を修行していくことが大切。そして身を以て行い示すことは次世代に真っ直ぐ伝わりまします。

これが菩提の種を蒔く身近な例です。こうして私たちの幸せは綿々と未来へとつなげていくのです。

※当寺副住職 拓郎と美貴(弘前市出身)は良縁をいただきまして、晴れて平成三十一年三月三日に入籍を済ませましたことをご報告いたします。末永くよろしくおねがいいたします。

親が拝めば子も拝む、 拝む姿の美しさ

ご先祖さまと強い絆で結ばれている私たちです。これからも感謝の気持ちをお返しすることなく、自らの身を以て心を込め、ご供養を修行していくことが大切。そして身を以て行い示すことは次世代に真っ直ぐ伝わりまします。

これが菩提の種を蒔く身近な例です。こうして私たちの幸せは綿々と未来へとつなげていくのです。

※当寺副住職 拓郎と美貴(弘前市出身)は良縁をいただきまして、晴れて平成三十一年三月三日に入籍を済ませましたことをご報告いたします。末永くよろしくおねがいいたします。

親が拝めば子も拝む、 拝む姿の美しさ